

この天の虹（1958）

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 日本

色彩 Color

時間 106分

初公開日 1958/10/28

【解説】

木下恵介が脚本・監督を担当した、九州の八幡製鉄所で生活する人々を描いたドラマ。

北九州にある東洋最大の八幡製鉄所。そこで働く須田菊夫は、溶鉱炉の組長である影山が所有する桃園アパートに下宿している。菊夫の先輩である相良は従業員クラブで知り合った千恵と付き合いたいと、郷里から母を呼び寄せ、先輩である影山に交渉を頼んだ。だが千恵の母に、作業員は夫と息子でたくさんだと断られてしまう。実は千恵には町村という恋人がいたのだ。菊夫は千恵に相良が作業員だから付き合えないのかと聞くが、千恵は村という恋人がいたからだと答えた。菊夫の熱意に負け、千恵は相良と二人で会うことに。彼女はすでに町村とブラジルへ行く決意をしていた。

【クレジット】

監督 木下恵介

製作 小椋正治

脚本 木下恵介

撮影 楠田浩之

美術 梅田千代夫

音楽 木下忠司

出演 高橋貞二

久我美子

大木実

田村高広

川津祐介

田中絹代

笠智衆